



湯沢警察署 交通課通信

2019. 6
第 5 号
交 通 課
交 通 指 導 係

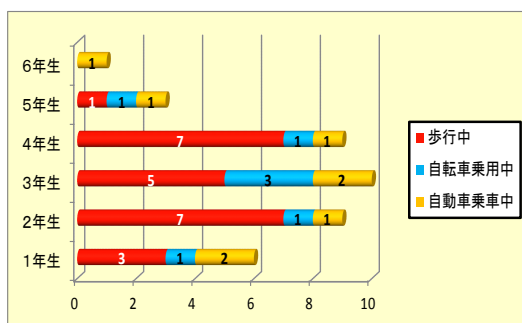
～小学生の交通事故特徴について～

1

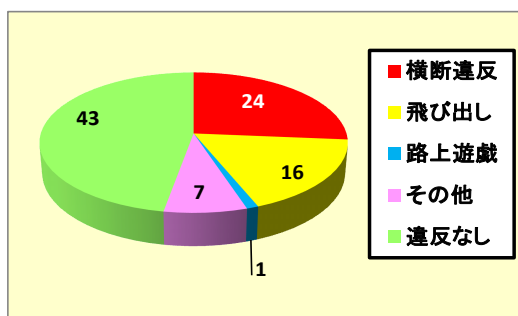
秋田県の特徴（H26～30までの過去5年間）

- 状態別では「歩行中の事故」が最も多い。
過去5年間の合計で全体の約6割を占めている。
- 事故発生の月別では「7月」が最も多い。
1年生は6月が最も多い。
- 1年生から3年生の歩行中負傷者は、4年生から6年生の約2.4倍。
- 私用の場合、1年生から3年生のピークは「4月下旬から5月中旬にかけて」多い。
- 歩行中負傷者の約3割が横断違反、約2割は飛び出しが原因。

小学生の状態別重傷者数



小学生歩行中の法令違反別負傷者数



※ H26～H30の合計

2

交通事故に遭わないために・・・

○知っておきたい「子供の歩行中交通事故の主な原因」

- 急に道路に飛び出す。
- 通り過ぎた車のすぐ後ろから横断する。
- 駐車車両の前後から渡る。
- 信号が青になったらすぐ渡る。

○知っておきたい「子供の危険な特性」

- 夢中になると周りが見えない傾向がある。
- 視野や視界が狭く、車を見落としがち。
- 身体が小さく駐車車両などに隠れてしまいやすい。
- 車の速度や動きなどについて、知らないことが多い。



子供を事故から守りましょう



湯 沢 警 察 署